

平成22年第4回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成22年3月26日（金） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者
古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、小林学校教育課長、
嘉代小中一貫教育推進室長、坂井学校教育課主幹、西山小中一貫教育推進室主幹、
捧中央公民館長、駒形教育総務課長補佐、藤井企画調整担当、阿部教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 1人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認について
平成22年第2回教育委員会臨時会会議録
平成22年第3回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報 告
報第1号 教職員の人事異動について
報第2号 平成21年度第2回三条市学校給食共同調理場運営委員会会議録について
 - (3) 議 事
議第1号 三条市公民館運営審議会委員の委嘱について
議第2号 三条市教育委員会規則等の一部改正について
議第3号 三条市教育委員会事務局処務規程等の一部改正について
議第4号 三条市スクールバス運行規則の一部改正について
議第5号 三条市幼児教育推進会議要綱の制定について
議第6号 三条市幼保小連携会議要綱の制定について
 - (4) その他
ア 三条市3月定例会の概要について
イ 小中一貫教育関係の概要報告について
ウ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 前回会議録の承認について
長沼委員長から平成22年第2回教育委員会臨時会会議録及び平成22年第3回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 報 告
 - ・ 報第1号 教職員の人事異動について
小林学校教育課長から説明、及び池浦教育総務課長から三条市役所職員の人事異動内

示について補足説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

・報第2号 平成21年度第2回三条市学校給食共同調理場運営委員会会議録について

梨本三条調理場長から説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

(3) 議 事

・議第1号 三条市公民館運営審議会委員の委嘱について

捧中央公民館長から説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

・議第2号 三条市教育委員会規則等の一部改正について

・議第3号 三条市教育委員会事務局処務規程等の一部改正について

池浦教育総務課長から一括説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定

・議第4号 三条市スクールバス運行規則の一部改正について

嘉代小中一貫教育推進室長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

中学生で自転車に乗っているのは、何キロメートル以上という規則があるのか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

具体的な規則はない。それぞれ学校側で自転車通学の可否も含めて学校管理の中で行っている。

(坂爪委員)

小学生や中学生で事情があり、学区外の学校に行っている子どもは、かなり遠距離になるだろうが、そういう子どもの通学についてはどうなっているのか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

学区外の通学だが、遠距離通学費補助費を利用していただき、通学定期の2分の1を補助している。ただ、通学の交通手段がないものについては具体的に補助する手だてがないので、今のところ実態としてはバスを利用している方のみ補助をしている。

(坂爪委員)

今後、一貫校ができると、やはりかなり希望する生徒が出てくることも考えられる。学区外通学で一貫校に行きたいという子どももいるだろうと思う。そういう場合の対応や通学については、前もって検討できればと思う。

(渡辺委員)

特に下田地区では、冬期間における通学距離がこの要件に満たしていない場合でも歩

道が完備されていない国道などがある。その辺はどのようにお考えだろうか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

現在の取扱いとしては、バスの乗車定員に空きがある場合、冬期間において安全性の確保を最優先に図らなければならないような地域、例えば雪崩が発生するという地域、危険が考えられる地域については、それぞれ申出により具体的な判断をしながらバスの乗車定員の範囲内で、距離未満であっても送迎をしているのが実情であるし、今後ともその方針は変えない。

(松永教育長)

改正の内容の2段目、中学生の「おおむね4キロメートル以上6キロメートル未満の通学区域内の行政区に住所を有していること。」とあるが、「6キロメートル未満」という表現は必要なのだろうか。上段で6キロメートル以上は通年ですよとあるが、冬期間6キロメートル以上は該当しませんよという受け止め方もされかねないのではないかと。上段の表現と同じような「4キロメートル以上の通学区域の行政区に住所を有していること」ではおかしいのだろうか。6キロメートル未満という表現がいるのか。

(嘉代小中一貫教育推進室長)

中学生の基本的なスクールバスの運行については、まず通年運行ということでおおむね6キロメートル以上が基本原則である。冬期間に限るとということで、6キロメートル未満と入っている。

全員異議なく承認と決定

・議第5号 三条市幼児教育推進会議要綱の制定について

・議第6号 三条市幼保小連携会議要綱の制定について

久住子育て支援課長から一括説明

(長沼委員長)

私の希望だが、是非幼稚園、保育園を見せていただくチャンスがあるといいと思っている。小学校、中学校もを見せていただくが、小さい子の様子を是非見せていただきたい。

(久住子育て支援課長)

予定を調整させていただき、是非訪問等をお願いしたい。

(長沼委員長)

はしを持てる子がいるのか、給食を見たい。若いお母さん方に聞くと、はしどころではないと言われ、心配になった。そういうことを見せていただきたいと思っている。

(坂爪委員)

子育て支援課には、各地域にある支援センターの関係者は入っていないか。

(久住子育て支援課長)

支援センターというのは、ここに上がる前の3歳未満のお子さん、保育所や幼稚園に入所しないお子さんが、保護者の方と一緒に遊んでいく、下のすまいるランドなどの施設ということなので、こちらのメンバーには入っていない。

全員異議なく承認と決定

(4) その他

ア 三条市3月定例会の概要について

古川教育部長から説明
質疑に入る。

(坂爪委員)

この前の推進協議会で、一体校の教室の件について報告いただいた。1～2年、3～4年、5～6年と中学1年、中学2～3年と別れていくわけだが、やはり1～2年の生徒像、それから5～6年と中1の生徒像から、当然学年が上がるに従って、教室の造りについては、違っていくと思う。特に1、2、3年生あたりの教室の造りは、やはりいろいろな方からアドバイスを受けながら設計に取り組んでもらった方がどうかという気がする。この前はいろいろな方の考えが出ていたが、是非低学年の教室の造りについては、検討していただくといいかなという感じがする。

(古川教育部長)

プロポーザル方式による業者の決定には至っているが、実際の設計についてはこれからである。今ご質問になられた教室については、オープン方式にするのか、あるいは従来型のような仕切った教室でやる方がいいのか、あるいは成長段階に応じて変えた方がいいのかは、今後基本設計の話し合いの中で決まっていくことになるかと思う。

先日の委員会等でも、どちらがいいのかという意見が出ている。いろいろな意見を聴きながら学校ごとに違っていてもいいので、特に授業を行う教員の意見、経験のある方の声を聴いていきたいと思っている。先ほど言ったように期間が非常にタイトなので、スケジュールをしっかりと見据えた中でできる限り意見を聴きながら進めていきたい。

(長沼委員長)

下田の推進協議会にお邪魔したときに、小学校の高学年や中学生の父兄は小中一貫といっても、もう終わりかなという気持ちがあり、一番熱心なのは幼稚園や低学年、1～2年の保護者だと、父兄の方が話しておられた。PTA会長さんは、どうしても6年生のお子さんの親御さんが多いので、もちろん話は伝わるのだろうが、一番一生懸命に心配して、こうしてほしいというのは幼稚園、小学校1、2年生の父兄ですよと、おっしゃっていた。

(古川教育部長)

全くおっしゃるとおりで、私どもも実際にPTAの役員以外の方にもしっかりと広報の努力をするとともに、また今後の校舎の建築もそうだが、すべての中学校区に推進協議会が立ち上がったので、そうした機会を通じて、様々な広報の工夫もし、そういった方々にも市の考え方をご理解いただき、また今後進めるに当たってもご意見をいただけるよう工夫をしていきたいと思っている。

(長沼委員長)

三条市は就労までを教育委員会というシステムができて、私はとても素晴らしいことだと思っているが、中学校の卒業式にうかがうと、名前だけ呼ばれて本人がいないと

か、この日初めて顔を見ましたと先生がおっしゃるような生徒がいる。その人たちが今までのようにその後どうなったのか分からないということではなく、ちゃんとそれを活用してくださるように祈っているが、高校を辞めてそのまま何年も家にいるということがないように是非活用していただきたいと思っている。

(古川教育部長)

今までは学校になかなかじめない子どもや不登校になった子どもについては、教員が心配しながらできる限りのケアをしてきたが、卒業してしまうとなかなか従来のようにはいかないというジレンマがある。そうしたところを三条市のこのプランも含め、トータルサポートシステムなど様々な施策を通じて支援していきたい。いまだ始まったばかりだが、校長先生始め各学校の教職員にもしっかりと市の考え方をお伝えし、卒業する子どもを特に注意しながら、保護者としてしっかりと情報の共有をして継続的に支援していけるように進めているところだ。

(松永教育長)

総合サポートシステム等で、どうサポートをするかは大変なことだが、今の小中一貫教育等でもそういう子どもを作らないための教育をどうするか。学校教育なり幼保小の連携も含め、子どもたちが健全な社会生活ができる素地を作っていく、不登校にならないような学校環境を整えていく必要がある。出口がふさがっている子どもに対してだけでなく、その素地をそれぞれの組織がしっかりと作っていかないと駄目だろう。そういうものが三条市が求めている一つの教育の方向だと思う。

イ 小中一貫教育関係の概要報告について

嘉代小中一貫推進室長から説明

質疑に入る。

(須佐委員)

先日、第二中学校区の推進協議会に出ささせていただいた。保護者と地域が通学路の関係を非常に心配されていた。校舎が新しくなる二中学区も一中学区も、ほかの学校も交流授業がこれから進んでいくと思うので、やはり通学路が新しくなることを心配していた。その辺をきるだけ早い段階で対処をしていただきたいと感じた。

(嘉代小中一貫推進室長)

先般の第二中学校区の第4回推進協議会で、今ほど委員からお話があったように具体的な通学路の整備について関心を寄せられていた。市としては、通学路の整備について、具体的には歩道整備ということに尽きるだろうと思うが、第一中学校区についてはいわゆる旧保健所の通り、三条駅から黒門に向かう通りの歩道整備に向けての調査に入る。また、第二中学校区にある興野新光線、二中の前の道の整備に向けた調査に入るということで承知をしている。そういうところをもう少し確認をしながら、具体的にどこまで進んだのか、整備状況を重ねながら説明をしたいと考えている。

(長沼委員長)

もう小学生の名前を覚えておられる中学校の先生がおられるなど、本当に皆さん大変

な努力をしてくださって、いろいろな試みをしてくださっている。共通して先生方が言われるのは、小学校の先生方と中学校の先生方が話し合うことがなかったと。そのことをとても先生方は驚いて、いろいろな発見をしてくださる。こんなことがという発見が多いということをお聞きして、私はとてもうれしく思っている。

交流授業を見ると小学校の先生は、中学生の肩などを撫でたり触ったりする。中学生の先生が後ろにおられて、あんなことできないなと言っておられて、ああそうか、こういうムードの違いも小学校だけを見ては分からない、中学校だけを見ては分からないことだと感じた。いろいろなことを先生方も発見されて、だんだん弾みがついているような気がしてとても頼もしく思っただけでいいと思っている。

どのアンケート、どの授業を見ても、先生方は本当に大変だと思う。こんなにいい授業を父兄の方も見てくださればと思ったりもする。

先ほどの通学路のことも、最初のころにどこかの自治会長さんが、通学路も大事だが子どもは歩くので、余り心配すると歩けなくなるのではないかというふうに言っていた。安全も大事だが、子どもには子どもの能力も体力もあるので、そこをもっと信用して頑張れよと子どもに言うこともあってもいいかな、余り先生方だけ頑張れよということでは成り立たないのではないかと思っている。

ウ 次回教育委員会定例会の日程について

池浦教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成22年4月23日（金） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成22年3月26日 午後2時53分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成22年4月23日

三条市教育委員会
委員長 長沼 礼子